

例 言

本資料は、鑄造遺跡研究会の2013年9月21日に開催予定の研究発表会の報告に関する資料、最近の鑄造遺跡の研究動向、および、2012年度研究発表会の討論記録を収載したものである。

鑄造遺跡研究会2013も、とくにテーマをもうけず、古代中世の鑄造遺跡、鑄物生産に関する民俗例、鑄造関連の伝世および出土遺物、鑄造技術の歴史などについて、幅広く検討して課題を解決し、さらに新たな研究課題を提出する予定である。

本資料の編集は、鑄造遺跡研究会事務局がおこなったが、執筆いただいた方々、作成過程において、ご協力をいただいた関係各位に深謝したい。

目 次

鑄造遺跡研究会2013研究発表 2013年9月21日(土) 京都橘大学清和館114 頁数

梵鐘鑄造の造型技術の変化——ジョウ（底型）と内型・外型の組合せ——	
京都橘大学 五十川伸矢	10:50～11:30…… 2
高精細デジタル画像でみる和鏡——制作技法と文様表現——	
黒川古文化研究所 川見典久	11:30～12:10……10
デジタル画像でみる漢鏡の鑄造技術——製作技法と文様表現——	
大阪府教育委員会文化財保護課 西川寿勝	13:00～13:40……20
古河市川戸台遺跡——古代東国の鑄造遺跡——	
製鉄遺跡研究会 穴澤義功	
武蔵文化財研究所 熊坂正史	13:40～14:20……32
仙台市薬師堂東遺跡の梵鐘鑄造遺構	
仙台市教育委員会 水野一夫	14:20～15:00……42

研究動向

企画展示「時代を作った技——中世の生産革命——」への招待	
国立歴史民俗博物館 村木二郎	54
国際歴史金属会議BUMAVIII奈良	
鑄造遺跡研究会事務局	59
吉田晶子さん追悼	68
鑄造遺跡研究会2012討論記録	72
鑄造遺跡研究会2013までの歩み	76